

2025年3月23日 (第4主日)

第一礼拝次第

メッセージ: 伊禮信義先生
ライブ配信: 郭永東牧師



前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		会衆	
プレイズ	「つながっていよう」 「いつも喜んでいよう」	会衆	
聖書朗読	申命記8章1~10節 (旧約聖書p294)	司会	
祈賛美	73	司会	
メッセージ	「良い地に導く主」	牧師	
祈賛美	第二讚美歌192	牧師	
祈賛美		会衆	
報告		司会	
頌栄	新生672b	会衆	
祝		牧師	

<巻頭言>

御言葉による成長

伊禮信義

「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。こうして、神に仕える人は、どのような良い業をも行うことができるように十分に整えられるのです。」

(テモテへの手紙第二3:16~17)

この御言葉にあるように聖書に記されている御言葉はすべてが偽りのない「靈感された神の言葉」であり、読む私たちを「教え」「戒め」「矯正し」「訓練」をして下さいます。そして、その目的は「良い業を行うため」「整えられるため」であるとハッキリ記されています。もちろん、私たちは既に水準(行い)ではなく、神の子としての身分(信仰)によって救われており、ありのままでも神様にとって「高価で尊い存在」であります。しかし、毎週の祈禱課題にも掲げられているように神様が「救い」に与かった私たちに期待されている事は、「信仰の成長」です。

イエス・キリストを証しする使命を託された私たち一人一人の信仰を成長させて頂けなければ「リバイバル」も「神の国の拡大、回復」もただの絵空事になりかねません。ですから聖書の御言葉は、私たちが成長するのに日々欠かすことができない食事と同じ「命の源」なのです。胡屋教会のみなさんは大丈夫だと思いますが日曜日にはしか聖書を開かない、週一回の食事だけでは間違いなく栄養失調になります。

もうすぐ四月で新年度が始まります五月のGWには胡屋教会の早天聖書箇所も創世記に戻ります。水曜日の落穂、夜の祈禱会はZOOMでも参加可能です。御言葉を味わう機会は神様の祝福のように溢れています。心を新たに、神様によって日々、造り変えられている事を実感しながらこれからの信仰生活も、聖書の御言葉と共に歩んで行きたいと思われまます。アーメン



第二礼拝次第

メッセージ: アドリアン・アルセ

司会: エベキエル・アルセ兄 奏楽: 郭永東牧師

プレイズ: 「Majesty マジェスティ」

「Give thanks 大いなる方に」

「In his time 御手の中で」

「Amazing Grace アメイジンググレイス」



ファミリー礼拝

聖書: サムエル記上18:1~16

メッセージ: 「ダビデとヨナタン」